

Kamakura symphony Orchestra

鎌倉交響楽団

第2回

ファミリーコンサート



2004年3月6日(土)

午後2時開演

鎌倉芸術館大ホール

後援：鎌倉市教育委員会

プロコフィエフ

交響曲第1番 「古典」
交響的物語 「ピーターと狼」

休憩

インスタントコンダクター・コーナー

J. シュトラウス2世

喜歌劇『ジプシー男爵』から 序曲
ワルツ「春の声」
喜歌劇『こうもり』から チャルダッシュ「故郷の歌を聞けば」
ワルツ「美しく青きドナウ」
ポルカ「雷鳴と稲妻」

プロフィール / PROFILES



指揮と司会：角 岳史 (すみ たけし)

島根県に生まれる。東京学芸大学芸術課程音楽科卒業。指揮と作曲を学ぶ。1995年秋よりウィーンに留学して研鑽を積む。

これまで新国立劇場、日本オペレッタ協会などをはじめとしてオペラやオペレッタの副指揮者として活動する他、各地の団体でモーツァルトの『フィガロの結婚』『ドン・ジョヴァンニ』『魔笛』、ヴェルディの『椿姫』、J・シュトラウスの『こうもり』『ジプシー男爵』、ピゼーの『カルメン』、フンパーディンクの『ヘンゼルとグレーテル』、オッフェンバックの『ジェロルスタイン大公殿下』などを指揮。1998～1999年シーズンには劇団四季のロングラン公演『オペラ座の怪人』でミュージカル指揮者としてもデビュー。また市民オーケストラや合唱の指揮、指導者としても各方面で活躍している。現在、日本オペレッタ協会指揮者。

指揮を井崎正浩、湯浅勇二、山本訓久、松尾葉子、ヴァラディ・カタリンの各氏に、作曲を故青木祐二、吉崎清富の各氏に師事。



歌とお話：日比野 景 (ひびの けい)

名古屋音楽大学大学院声楽専攻修了。第38期二期会オペラスタジオオマスタークラス修了、修了時に優秀賞受賞。戸田敏子、大野恵子の両氏に師事。二期会会員。

『魔笛』童子Ⅱでオペラデビュー、以後『フィガロの結婚』『ドン・ジョヴァンニ』『愛の妙薬』『奥様女中』他で主要な役を演じ、いずれも好評を博す。またオペレッタやミュージカル、合唱ソリスト、映画やドラマの挿入歌、各地でのコンサートと、様々な舞台で活躍中。

◆今回の演奏会にあたり、榊原 徹先生にもご指導いただきました。

鎌倉交響楽団 演奏会のご案内

♪ 鎌倉の音楽家によるコンサート

2004年3月20日(土・祝) 鎌倉芸術館大ホール
指揮：古谷誠一 トランペット独奏：佐藤友紀
曲目：モーツァルト／「ドン・ジョヴァンニ」序曲
ハイドン／トランペット協奏曲 ほが

♪ 第83回定期演奏会

2004年6月19日(土) 14時開演 鎌倉芸術館大ホール
指揮：古谷誠一 ピアノ独奏：芹沢佳司
曲目：ベートーヴェン／「レオノーレ」序曲 第3番
グリーグ／ピアノ協奏曲
チャイコフスキー／交響曲第6番「悲愴」



プロコフィエフ

ロシア出身のプロコフィエフ（1891～1953）は、作曲家として、また、優れたピアニストとしてその天才的な才能を発揮し、バレエ『ロメオとジュリエット』や、オペラ『3つのオレンジへの恋』などの名曲を数多く残しました。

◆ 交響曲第1番「古典」

この曲はロシア革命のあった1917年に作曲されました。「もしもハイドンが生きていたら、きっとこんな曲を書くだらう」という発想をもとに作曲され、オーケストラの楽器編成もハイドンの時代のように小さくシンプルな編成になっています。現代的な作風の作曲家として有名だったプロコフィエフが古典的な作品を書いたという事で、当時とても話題になったそうです。

◆ 交響的物語「ピーターと狼」

こちらは物語つきの音楽で、1936年にモスクワの子ども劇場の支配人から依頼を受け、プロコフィエフが自分で台本を書き、わずか1週間のうちに作曲されました。物語に出てくるキャラクターは、オーケストラのさまざまな楽器で表されています。小鳥はフルート、アヒルはオーボエ、猫はクラリネット、狼はホルン、おじいさんはファゴット、狩人はティンパニと大太鼓、そしてピーターは弦楽器です。子ども好きだったプロコフィエフはこの曲を『モスクワの子どもたちへの、そして私の子どもたちへのプレゼント』と言っています。



J. シュトラウス2世

俗に「ワルツ王」と呼ばれるヨハン・シュトラウス2世（1825-99）は、百数十曲のワルツと17曲のオペレッタを書きました。どちらのジャンルの曲もウイーンフィルのニューイヤーコンサートでメインとなっており、今日演奏される曲をみなさんどこかで耳にしたことがあるでしょう。

◆ 喜歌劇『ジプシー男爵』から 序曲

この喜歌劇は、祖父が残した財宝を探すためハンガリーの田舎に帰ってきた主人公バリンカイが、ジプシーの老婆とその娘（実は高貴な生まれのお姫様）ザフィーの手助けで宝物を発見するというお話です。

本日演奏する「序曲」は、劇中の名旋律ダイジェストのような構成になっています。

◆ ワルツ「春の声」

ヨハン・シュトラウスは、あるパーティーでリストと同席し、そこでリストがアドリブで弾いた1曲をワルツの形にまとめてしまいました。そしてその曲に歌詞をつけたのが「春の声」です。

◆ 喜歌劇『こうもり』から チャルダーシュ「故郷の歌を聞けば」

この喜歌劇は、浮気性の主人公アイゼンシュタインに一泡ふかそうと、友人や妻ロザリンデが一芝居打つという内容です。場面は、主人公が招待された舞踏会でハンガリーの伯爵夫人（実は妻ロザリンデの変装）を一生懸命口説くところ。その時に周囲から「本当にハンガリー伯爵夫人なの？」とささやかれたので、その証拠にとロザリンデが歌うのがこの曲です。

◆ ワルツ「美しく青きドナウ」

ワルツといえばこの曲、というくらい有名な曲です。もともとは戦争に負けて落ち込むオーストリア国民を励ますために書かれました。ドナウ川のせせらぎのような弦楽器だけのトレモロからはじまり、次々と出てくるワルツも変化に富んでいます。

◆ ポルカ「雷鳴と稲妻」

タイトルどおり「雷鳴」と「稲妻」を描写した速いテンポのポルカです。打楽器の雷のような音で始まり、快適なテンポで曲は進行します。金管楽器が豪快に楽しげなメロディを演奏します。中間部では、「ピカッ、ゴロゴロ」という感じを描写しています。

団員出演者名簿

常任指揮者：古谷 誠一 コンサートマスター：五味 俊哉 マネージャー：芳賀 節子/芥川 敬/森 久仁子
 名誉団長：日比谷 平一郎 事務局長：田中 幸一 会計：曾根 民子
 団長：山本 賢二 副団長：小原 克馬/河原 寛 ライブラリアン：三門 サカエ
 ファミリーコンサート実行委員：芥川 敬、青柳 山紀、桑野 若菜、佐々木 敬史、清水 里美

1st Violin	菅井 直介	Cello	Flute&Piccolo	Horn	Percussion
井上 康男	曾根 民子	●飯田 達男	菊竹 秀夫	●芥川 敬	明村 直美
宇多 綾子	高橋 けい子	佐藤 洋子	曾根 美樹	白井 賢司	今城 信彦
遠藤 勝智	●高橋 良子	志村 篤子	●高橋 弘子	山崎 和之	●太田 純
小原 治子	中橋 美木子	重兼 寿夫	山田 美奈子	山田 克彦	蓑田 俊之
●河原 寛	芳賀 節子	鈴木 達広			横井 桃子
桐本 圭三	増田 秀人	中井 良樹	Oboe	Trumpet	
●五味 俊哉	望月 由佳子	中野 太一郎	紅林 優志	●清水 里美	Harp
五味 晶子	山岡 祐介	●西山 優子	●桑野 若菜	津金 勝技	◇ 杉山 敦子
重兼 文恵			中橋 英純	森 久仁子	
富岡 陽子	Viola	Contrabass	山本 賢二	Trombone & Tuba	
中村 順子	茂島 純子	青木 俊憲		有賀 功	
馬場 潔子	小原 克馬	梅沢 定彦	Clarinet	桜井 貴志	
八木 育江	笹尾 英昭	大内 達郎	内田 千枝子	●府川 創作	
油谷 伸一	佐々木 敬史	佐藤 正	片山 眞知子	●煤孫 さえ子	
	清水 正義	●原 宏造	鈴木 美緒		
2nd Violin	中村 恵	福島 晋成	●前沢 実		
青柳 由紀	日比谷 平一郎	矢野 健	望月 俊哉		
新井 俊成	正木 基身	渡辺 均			
石橋 智子	三門 サカエ		Bassoon		
大谷 多満江	●水上 清		鹿倉 健太		
●白水 千晶	宮下 重美		松木 祐子		
			●矢吹 紀子		

●:パートリーダー
 ◇:賛助出演
 ※:団友

鎌響団員募集

(各パート若干名)

オーケストラ経験のある方

—— お問い合わせ ——

0467-25-3512 田中 方

♪ 鎌響ホームページ (<http://homepage2.nifty.com/kso/>) もご覧下さい。 ♪

世界で一番小さいデパート

アトリエ K&T

古布ちりめんの香袋など
オリジナル商品、かわいいもの、素敵なもの、
両手いっぱいになります!

営業時間 / 11:00 ~ 17:00 定休日 / 月、火曜日
〒248-0003 鎌倉市浄明寺3-2-27 TEL.0467-22-2615

雛祭り、端午の節句にちなんだ、ちりめん人形他
たのしい雑貨も大集合!!

アトリエ K&T
 浄明寺バス停
 杉本観音バス停
 岐れ道バス停
 (生戒寺)
 鶴岡八幡宮
 バス停No.5、杉本寺下車
 バス停駅前No.5、杉本観音下車
 鎌倉駅
 至北鎌倉
 杉本観音下車
 杉本観音下車